

令和5年度第1回南西部地域保健医療協議会  
議事録

1 日 時

令和5年11月28日（火）19:30～20:30

2 場 所

オンライン（ZOOM）

3 出席者

【委員】16名

滝澤義和委員（会長）、井上達夫委員（副会長）、野入聡悟委員、小柳聡委員、武長正洋委員（代理）、佐藤千春委員、今井慎委員、増尾猛委員、近藤政雄委員、斎藤幸子委員（代理）、平野静香委員、鈴木貴久委員、皆川恒晴委員、池田康幸委員、荻野雅司委員、湯尾明委員

【事務局】

保健医療政策課職員、朝霞保健所職員

【傍聴人】

0名

4 議事

（1）議事1「圏域別取組（第7次計画）の令和4年度実績について」

資料「第7次埼玉県地域保健医療計画 南西部保健医療圏 重点取組 実績調書」により朝霞保健所から説明。

委員から質問等はなかった。

（2）議事2「第8次計画の骨子案及び指標案について」

資料「埼玉県地域保健医療計画（第8次）の骨子」により保健医療政策課から説明。

委員から質問等はなかった。

（3）議事3「圏域別取組（第8次計画）の策定について」

資料「埼玉県地域保健医療計画（第8次）に係る『圏域別取組』策定指針」、資料「埼玉県地域保健医療計画（第8次） 圏域別取組策定指針（概要）」及び資料「保健所における健康危機対処計画（感染症編）について」により保健医療政策課から説明。

また、圏域別取組の策定に当たって、今後の具体的なスケジュールを朝霞保健所から説明・提案した。

（質問）滝澤義和委員

「埼玉県地域保健医療計画（第8次）の骨子」における第5部「医療従事者の確保等」について、県内の看護学校の経営が行き詰っており、今後は看護師の養成が難しくなる可能性が高い。

これは第7次計画の際には想定していなかったが、今、目の前の問題として看護学

校の体制確保支援を事業に盛り込んでいただけたらありがたい。

(回答) 保健医療政策課

医療従事者の確保は各圏域では取り組みづらいと考え、全県として取り組むという大枠を示しているが、圏域として取り組めることがあれば圏域で相談していただいて構わない。事務局としてはいかがか。

(回答) 朝霞保健所

どのような形とするかは滝澤会長とも相談しながら進めていきたいと考えている。

なお、南西部保健医療圏の圏域別取組策定スケジュールについては、委員から質問や異議はなかった。

## 5 閉会